

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 6 月 26 日(2023.6.26)

【公開番号】特開 2021-197660(P2021-197660A)
【公開日】令和 3 年 12 月 27 日(2021.12.27)
【年通号数】公開・登録公報 2021-063
【出願番号】特願 2020-103908(P2020-103908)
【国際特許分類】

H 0 4 W 1 2 / 0 4 (2 0 2 1 . 0 1)

H 0 4 W 7 6 / 1 5 (2 0 1 8 . 0 1)

H 0 4 W 7 6 / 1 1 (2 0 1 8 . 0 1)

【 F I 】

H 0 4 W 1 2 / 0 4

H 0 4 W 7 6 / 1 5

H 0 4 W 7 6 / 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 16 日(2023.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

IEEE 802.11 規格シリーズに準拠したマルチリンク通信を実行可能な通信装置であって、

周波数チャネルを介して第 1 のリンクと第 2 のリンクを確立する接続手段と、

前記接続手段によって前記第 1 のリンクの接続先の通信装置と前記第 2 のリンクの接続先の通信装置とが同一の通信装置である場合は、前記第 1 のリンクを介した通信と前記第 2 のリンクを介した通信とで共通の PTK (Pairwise Transient Key) を設定する設定手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記通信装置は、前記第 1 のリンクの接続先の通信装置の識別情報と、前記第 2 のリンクの接続先の通信装置の識別情報とに基づいて、同一の通信装置であるかを判定する判定手段とを有することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記判定手段によって同一の通信装置であると判定された場合は、前記判定手段は前記第 1 のリンクで設定した PTK を前記第 2 のリンクで使用する PTK に設定することを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記判定手段によって同一の通信装置であると判定された場合は、前記判定手段は前記第 2 のリンクで設定した PTK を前記第 1 のリンクで使用する PTK に設定することを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記判定手段によって同一の通信装置であると判定され、前記第 1 のリンクを用いた通信を実行中ではない場合は、前記判定手段は前記第 2 のリンクの PTK を前記第 1 のリンクで使用する PTK に設定することを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

10

20

30

40

50

【請求項 6】

前記判定手段によって同一の通信装置であると判定され、前記第 1 のリンクを用いた通信を実行中である場合は、前記判定手段は前記第 1 のリンクで設定した P T K を前記第 2 のリンクで使用する P T K に設定することを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記判定手段によって同一の通信装置ではないと判定された場合は、前記第 2 のリンクで生成した P T K を前記第 2 のリンクで使用する P T K に設定することを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記通信装置は、前記第 1 のリンクの接続先の通信装置の識別情報を当該第 1 のリンクの接続先の通信装置から受信する第 1 の受信手段と、 10

前記第 2 のリンクの接続先の通信装置の識別情報を当該第 2 のリンクの接続先の通信装置から受信する第 2 の受信手段と、を更に有し、

前記判定手段は、前記第 1 の受信手段及び第 2 の受信手段によって受信された識別情報に基づいて、前記第 1 のリンクの接続先の通信装置と前記第 2 のリンクの接続先の通信装置とが同一の通信装置であるかを判定することを特徴とする請求項 2 から 7 の何れか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 9】

前記通信装置は、前記第 1 のリンクの接続先の通信装置の識別情報を当該第 1 のリンクの接続先の通信装置へ送信する第 1 の送信手段と、 20

前記第 2 のリンクの接続先の通信装置の識別情報を当該第 2 のリンクの接続先の通信装置へ送信する第 2 の送信手段と、を更に有し、

前記判定手段は、前記第 1 の送信手段及び第 2 の送信手段によって送信された識別情報に基づいて、前記第 1 のリンクの接続先の通信装置と前記第 2 のリンクの接続先の通信装置とが同一の通信装置であるかを判定することを特徴とする請求項 2 から 8 の何れか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 10】

前記通信装置は前記識別情報をマネジメントフレームに格納することを特徴とする請求項 9 に記載の通信装置。

【請求項 11】

前記識別情報は M L D I D (M u l t i - L i n k D e v i c e I D) であることを特徴とする請求項 2 から 10 の何れか 1 項に記載の通信装置。 30

【請求項 12】

前記 P T K は 4 W a y H a n d s h a k e 処理を実施することで生成することを特徴とする請求項 1 から 11 の何れか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 13】

I E E E 8 0 2 . 1 1 規格シリーズに準拠したマルチリンク通信を実行可能な通信装置の通信方法であって、

周波数チャネルを介して第 1 のリンクと第 2 のリンクを確立する接続工程と、

前記接続工程によって前記第 1 のリンクの接続先の通信装置と前記第 2 のリンクの接続先の通信装置とが同一の通信装置である場合は、前記第 1 のリンクを介した通信と前記第 2 のリンクを介した通信とで共通の P T K (P a i r w i s e T r a n s i e n t K e y) を設定する設定工程と、 40

を有することを特徴とする通信方法。

【請求項 14】

コンピュータを請求項 1 から 12 の何れか 1 項に記載の通信装置の各手段として機能させるためのプログラム。